暮らしイキイキ
あなたと町の広報誌
広報あっけし
平成21年２月号 No.740
毎月１日発行

編集後記

▼先月号の編集後記に掲載したサケの飯ずし。年末に食べてみると、塩辛くまろやかさが足りませんでした。残念。知人に聞くと、塩抜きが十分ではなかったことと、酢が足りなかったのでは、とのこと。仕事と同じく、経験の積み重ねが大事だなと感じました。　(内柴)

▼新しい年がスタートしました。元日の初日の出イベントでは、あいにくの曇り空で残念ながら水平線からのぼる太陽を見ることができませんでしたが、初詣でで引いたおみくじは『大吉』。少し幸せな気分になりました。▼生まれて初めてワカサギ釣りに挑戦。釣るぞ～！という意気込みが強すぎたせいか、１時間で２匹しか釣れませんでした。釣り上げた時の楽しさが忘れられず、また挑戦したいです。　(大門)

▼雪が降ったり雨が降ったりと、天候が安定しません。おかげで道路はツルツル・グチャグチャと危険でしょうがないです。車ばかりではなく歩行者の皆さんも気をつけてください。滑って転んでケガをしないように。▼厚岸産の牡蠣で仕込んだビール『オイスタースタウト』が発売されました。来月号で詳しく伝えますが、先ずは飲むのが先ですね。　(田﨑)

ひとのうごき

●人口／11,157人　（－15）
　男／ 5,324人　（－1）
　女／ 5,833人　（－14）

●世帯／4,446世帯　（－3）

●出生／ 6人　●転入／10人

●死亡／ 9人　●転出／22人

●外国人／94人　88世帯

12月31日現在（ ）内は前月比

■発行／厚岸町
■編集／総務課広報情報係
〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138
URL　http://info.town.akkeshi.hokkaido.jp
携帯電話　http://203.180.48.2
E-mail　akkeshi@pop2.marimo.or.jp

間伐で未来につなぐ北の森
広報あっけしは、環境保護のため道産間伐材と古紙を配合した用紙を使用しています。

生きる力

（今月のタイトルは太田小学校４年の櫻井優実さんが書きました）

町内小・中学校をリレーで紹介

学習指導要領の理念である『生きる力』
この『生きる力』をはぐくむため
学校ではさまざまな取り組みをおこなっています

第５回　厚岸町立太田小学校

人から、地域から豊かに学ぶ

「この間まであった道が葉っぱでなくなってるよ」「ジャングルみたいだね」「ジャガイモの花が咲いたよ」「花はいくつあるかなあ」・・１、２年生の子どもたちが自分たちの畑でつぶやいていた言葉です。

太田小学校は全校児童29名の小さな学校です。そのうち１、２年生は６名。子どもの数が少ないことを逆に生かす教育が可能なのが私たちのような小規模校です。

生活科の授業で学校の畑に行きました。子どもたちが畑に行ってしたことは・・思い思いに一人ひとりが土いじり。スコップを持ってきて穴を掘ってはミミズや虫を探している子ども。山をつくってトンネルを掘っている子ども。道をつくっては水を流している子ども・・。子どもたちは土いじりが大好きです。楽しく土と戯れたあと、気がつくと畑は子どもたちで踏み固められ土が硬くなっていました。これでは作物が育たないと、今度は汗を流しながら土を耕し、柔らかい畑に復活。

さて、何を育てよう。畑は一人ひとりに十分なスペースが与えられます。自分の畑を持つことができます。今年は、ジャガイモとカボチャを育てることに。学校で拾った石で自分の看板をつくり（看板作りでは公務補さんが板を細工してくれました）、畑仕事の始まりです。ここで大きな力となってくれたのが、おばあちゃんたち。野菜作りの知恵をいっぱい教えてもらいました。一緒に畑仕事もしてくれました。一緒に収穫もしてくれました。作業服を着た校長先生もよく畑に来てくれました。

最後は収穫した野菜で料理作り。おばあちゃんたちは皮のむき方も包丁の使い方も後片付けもとっても上手です。いも団子、カボチャ団子、お汁粉、カボチャのスープ、みんなでおいしく食べました。

地域の自然から、地域の人から豊かに学んでいく子どもたち。地域の『もの』『ひと』『こと』に触れ、そこでの体験から豊かな学びが広がっていきます。学校は地域に支えられています。そして子どもたちが豊かに学び、豊かに成長していくのです。

３学期は子どもたちがおばあちゃんたちを学校に招いて、感謝の気持ちを表す学習を行う予定です。

おおだいすきもらもらパワー

[前へ]